

「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座 第6回」

下北地区：令和6年11月 6日（水）下北文化会館

9名

中南地区：令和6年11月20日（水）弘前市総合学習センター

12名

1 内 容

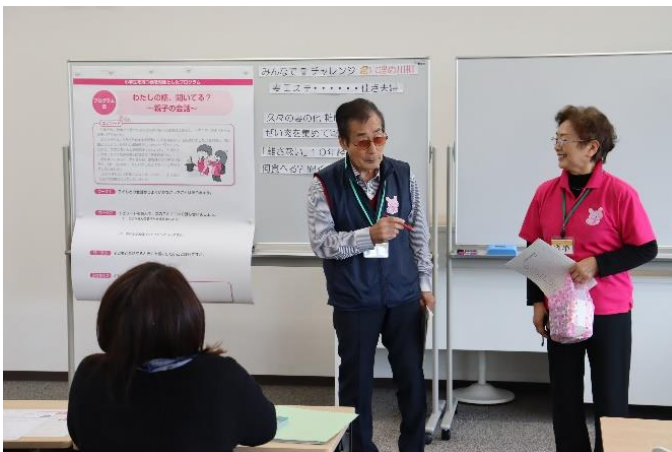
【演 習】「あおもり^{おやがく}親楽プログラムⅣ」

進行 県総合社会教育センター職員



あおもり親楽プログラムとは、子どもの理解や親子の関わり方等、子育てに必要な知識やスキルについて、親同士が身近なエピソードや活動を通して話し合い、主体的に学ぶ参加型の学習プログラムです。

当講座の演習では、受講者が「あおもり親楽プログラム」にあるエピソードの中からエピソードを選びます。演習は全4回にわたり行われ、様々な事例について交替で進行役を体験していただきました。支援者と研修会参加者の双方の立場を体験することで、あおもり親楽プログラムへの理解と支援者としてのスキルの獲得につながりました。



2 受講者の感想

- ・色々な人の演習を体験することができ、とても参考になりました。アイスブレイクも数多く体験でき、まねしたいものがたくさんありました。また、一緒にみなさんと話し合いや意見交換することで、様々な意見が聞けて楽しめました。
- ・養成講座に参加して、親楽プログラムについて学ぶことができ、家庭教育支援についての理解を深めることができました。
- ・今回、プログラムを通して、親の視点だけではなく、子どもの視点で気持ちを考えてみるのが大事だと感じました。みんなで感じたことを共有するといろいろな視点、気づきが得られ、充実した時間でした。
- ・自分の意見と違っていても否定することなく、みんなで理解や共感する姿勢が見られました。親の背景（仕事や家事に追われていること等）も理解しながら、無理が無く、できそうなことを一緒に考えると子育てが楽しくなる、また、悩んでいることを素直に発言できる場の大切さを学ぶことができました。